

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年4月7日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【H5エリアタンク基礎設置工事における工事報告書未受領での検収処理について】 主管グループが関係箇所より、H5エリアタンク基礎設置工事の工事報告書の確認依頼があり、確認したところ、工事報告書を未受領で検収処理をしたことを確認。 工事報告書は、その後、請負会社から受領した。 原因は、主管グループの工事担当者が、工事竣工時期が年度末であったため提出書類等の確認作業が輻輳し、工事報告書が未受領であることに気付けなかったことと推定。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	4月5日
2	<p>【サブドレン集水設備の警報履歴ソフトウェアの不具合について】 当直員がサブドレン集水設備No.2中継タンクの「中間水位高」警報の発生によりNo.2中継タンク移送ポンプの停止を確認。 移送ポンプは「流量低」警報により停止したと判明。 その後、移送ポンプを再起動したが「流量低」警報は発生しなかったことより、一過性のものと推定。 運転履歴を確認したところ、移送ポンプ「流量低」の警報履歴がないことを確認。 当社社員とメーカーにて調査したところ、ソフトウェアの不具合により警報履歴が残せない状態であることが判明した。 今後、ソフトウェアの類似箇所の調査、修正および再発防止対策を検討。</p>	G III	4月5日